

# 『薬屋のひとりごと』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

調査目的	『薬屋のひとりごと』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『薬屋のひとりごと』を読んだことのある10代～50代の男女22名
調査期間	2024年12月21日～2024年12月23日 2025年9月19日～2025年9月20日 2026年1月19日～2026年1月20日 2026年4月23日～2026年4月24日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kusuriyanohitorigoto/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kusuriyanohitorigoto/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『薬屋のひとりごと』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『薬屋のひとりごと』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	7名
30代女性	7名
40代女性	2名
50代女性	1名
20代男性	1名
30代男性	3名
40代男性	1名

Q2:『薬屋のひとりごと』を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった):絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった):漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。

★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。

★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	13人
★★★★	7人
★★★	2人
★★	0人
★	0人

Q3:『薬屋のひとりごと』を実際に読んだ感想を教えてください。

原作小説に極めて忠実で、とても素晴らしいコミカライズだと思います...!

内容としては本当に小説をそのまま漫画化したといった感じで、省略された部分もほぼ無いので原作ファンも必見だなと感じました。

当時人物は皆小説版のイラストに近いデザインで描かれているのですが、とにかく線の綺麗な絵でめちゃくちゃ美しいです。

アニメから入ったという方も是非読んでみてください！

玉葉妃が自身のお腹に手を当てて、胎動を子供と楽しむ姿は微笑ましかったけど、胎動が下の方と言うだけで、逆子だとすぐに察する猫猫がすごいと思ったし、玉葉妃の為に、必死にどうにか出来ないかと頭を巡らせる猫猫が優しいと思いました。切開ができる人を知っていると知った時はほっとしたけど、その人が罪人である事を残念に思いました。

『薬屋のひとりごと』は倉田先生が作画している方の漫画を読んでいます。ストーリー自体がとても面白く、主人公の広い薬の知識で、宮中の様々な問題が解決されていく様子が、スカッとします。また、イケメンで仕事もできるハイスペックな壬氏が、主人公の猫猫に恋愛面で振り回されるのが面白く、そして時折キュンとします。悪役として登場するキャラクターも、その背景がしっかりとあり、全員が全員悪い人ではないという描かれ方も好きです。まだまだ続いている作品なので、これからも楽しみにしながら読み進めていきたいです。

『薬屋のひとりごと』で魅力的なキャラはやはりダントツで猫猫だと思っています。個性の強いキャラで沢山の登場人物達をもて遊んでる感じがたまらなく面白くたまに優しく猫っぽくなるころは女の子らしくて可愛いなと思います。感動的シーンもありますが笑いを取ろうとしてくるころが好きです。一番印象に残るのは猫猫の毒の刺激が好きすぎて自分を犠牲に実験しようとしたり毒を毒味して感動して顔がとろけたりするシーンが個人的に一番一生に残っています！

『薬屋のひとりごと』は、毒薬に精通したヒロイン・猫猫が、後宮を舞台に繰り広げるミステリー作品で

す。猫猫の冷静な分析力と毒薬に関する深い知識が、数々の謎を解き明かしていく様子が面白いです。毒薬に関する知識や歴史的な背景が丁寧に描かれており、毒薬に関する興味が深まるだけでなく、当時の社会情勢や人々の生き様を垣間見ることができます。

アニメから入った新参加者ですが、とにかく作画が綺麗で感動しました...！

特に壬士様、個人的にはアニメ版以上に好きになっちゃってます。

もちろん猫猫も超絶可愛いですし、皆顔が良すぎて本当に読んでるだけで癒されました。

後宮という陰謀と陰湿な嫌がらせが蠢く舞台で、アニメ同様の活躍を見せてくれる猫猫が最高にかっこよかったです！

元は小説家になろうの小説を読んでいましたが、コミックス化されると聞き、コミックスも読みました。どのキャラクターも個性が光っていますが、やはり主人公の猫猫の性格や他のキャラクターとの接点や、段々と近づく距離感、1番は話ごとにどう解決するか...が面白いと思います。色々な伏線がどこで拾われるのか、見返しても何度も楽しんでます。毒にウツリする猫猫が個人的には大好きです。

主人公はイケメンが来ても心を揺さぶられず、あくまでも自分の夢を真っ直ぐに追いかけているところが素晴らしいと思いました。そして勉強した薬の知識によって問題を解決し、自分の可愛さではなくて実力でのしあがっていくのも、読んで胸が熱くなりました。後宮での複雑な人間関係もあり、どんどん増えていく問題をどうやって乗り越えていくのか見届けたくります。

敢えてブスに魅せる主人公。とにかく淡々としていて冷静で、他にはないヒロインが面白いと思えました。そりゃ心惹かれて当然ですよ。すり寄ってくる者たちばかりの中で一人離れていくのですから。なかなか壮絶な過去を持っているヒロインですが、そういった様子はあまり感じさせない。中国の昔の姿なのでしょうか。この舞台の雰囲気もいい。

薬学、薬や中国の歴史の世界観、サスペンスの要素  
この組み合わせはありそうで今までなかったように感じます。

印象的なシーンがたくさんあり、ふたつの作品があるので

どちらの画風が好きかは好み分かれますが

とても人情味があったり、人の汚い部分などが見えて

とてもインパクトのある作品です

設定だけを見ればそんなに新しいとは思わないのですが

でも読んでみると斬新に感じる不思議な作品です。

途中から恋愛要素が強くなってるのでそこも好み分かれますかと思えます。

主人公の猫猫は人さらいにさらわれて後宮に売られてしまうのですが、元は薬を生業にしており、毒が大好きで毒見が天職といった少し個性的な女の子。聡明で薬や毒に対する知識量も多い猫猫は後宮で起こる様々な出来ごとを薬の知識で解決していきます。命に係わる事件ばかりでヒヤヒヤしますがこの推理が読んでいて面白いです。壬士様との掛け合いがまたくすぐったくヤキモキして続きが気になってしょうがないです。薬学や推理系が好きな方におすすめしたい作品です。

アニメから入ってハマリました口なのですが、ストーリー、キャラクター、謎解きのどれを取ってもハイレベルなどにかく質の高い作品で改めて感動しました...！猫猫と壬士さまの脱力感のあるやり取りが読んでいて非常に心地が良く、丁寧に散りばめられた伏線をこれまた丁寧に回収していく緻密なストーリーなど、様々な魅力に溢れた傑作だと思います！

「薬屋のひとりごと」のアニメを見始めた頃は薬屋さんの話だと思っていました。そしたら実はミステリー要素もあって、次々と事件が起こります。それを猫猫が解決するのですが、薬の知識があったおかげで助かる命もあり、こんなにドキドキする話だとは思っていませんでした。途中からは恋愛も絡んできて、そちらの方面でもどうなるか、続きが楽しい作品です。

猫猫が薬の知識と鋭い観察力で後宮の謎を解いていく場面がとても面白いです。毒の仕組みを見抜いたり、意外な人物の行動の理由を説明したりする場面では、思わず息をのんでしまいました。複雑な後宮の人間関係や秘密が絡む中で、冷静に推理する猫猫の姿に感情移入でき、応援したくなります。壬氏様との恋愛の結末もとても気に入り。次の巻もすぐに読みたくなる作品です。

宮中での下働きをしながら暮らしている主人公の女の子・猫猫(マオマオ)、そんな彼女が薬師としての持ち前の知識を活かして帝の御子たちが皆短命であるという噂を解明していくという内容のお話です。世界観、キャラクターの造形の作り込みの深さにとにかく圧倒されました。猫猫と壬氏様の不思議な関係性も面白く、幅広い層に刺さる作品だと思います。

なろうで小説の方を試しに読んでみてなかなか面白かったので、それからコミカライズを読み始めました。主人公の猫猫がかなり个性的かつ癖のある人物で、攫われて後宮に売り飛ばされたという境遇をものともせず、たくましく自分の居場所を作っていく姿がまず面白い。そしてそこで出会った壬氏と、お互いに利用しあいながら後宮内の事件を解決していくところも興味深かったです。ストーリーの結末もさることながら、この微妙な関係の二人が今後どんな結末を迎えるかとても気になるので、最後まで作品を追いかけようと思っています。

この漫画はただのミステリー作品というだけでなく、人間関係の様子や宮廷内の複雑な権力争いが絡み合う物語でも引き込まれました。毎回、読むたびにドキドキハラハラして一気に読み進めることができました。特に壬氏との関係が進展していく過程は、ドキドキしながらも大人の恋愛の駆け引きのよう読んでいくうちに物語にぐいぐい引き込まれていきました。推理要素、人間ドラマ、恋愛模様が絶妙に混じり合っており、物語の世界観にどっぷりハマれる作品で大人が読んでも読み応えは抜群でした。

薬師をしていた経験から、後宮で下女として働いていた猫猫が、その豊富な知識を活かして問題や事件を解決していくところが面白かったです。猫猫の興味を持ったことにはとことん突き詰める性格もあり、思わぬ形で後宮内で能力を発揮するところや、猫猫の知識の高さを目に掛けた壬氏との関係が、上下関係から徐々に変化していくところにも、ドキドキさせられました。

「薬屋のひとりごと」は、偶然流れてきた広告から毒を飲むという、毒見役というところをフォーカスして、そこに謎解き要素が入っていたのがとても興味を引き全部読みました。感想としては、とても面白い作品であり、すごいめり込んで読むことができる作品でした。猫猫が色々な人と関わり、様々な事件を解決していく様子が、すごくかっこよかったり、壬氏様が猫猫のことを好いているのに、伝えられずにいて、自分の立場についても隠しているなど恋愛漫画と謎解き漫画が混ざっているような感覚でした。そこがとても興味深く読み続けた要因です。続きがあるのであればさらに読みたいなと思っています。

とても頭の回転がはやく、本当は美形なのにあまり愛想は良くなくて、冷めているように見えるけれど実は意外と思いやり深いという猫猫のキャラクターが良いなと思いました。また猫猫のお相手となる壬氏も、身分も能力も高いキラキライケメンながら実は腹黒だったり、猫猫に対しては子どもっぽい態度をとってしまったりするギャップに好感を持ちました。

もともと猫猫の方を読んでいました。それで、こっちの『薬屋のひとりごと』も興味が湧いてきて読んでみたんですが、結構違いがあって面白いですね。ミステリー要素の違いとか、作風の明るさとか、違う漫画として楽しめるくらいでした。おすすめはどっちも読んで、物語をより深く知る読み方ですね。アニメから入りましたが、どっぷりハマってしまいました。

猫猫の方も少し読んでみたのですが、こちらのほうが自分に合っていたので、ビッグガンガンで連載されている方で読み始めました。ストーリーも謎解きも面白いし、かなり世界観が作り込まれていて驚きました。アニメとかで人気になっているのも頷けます。一気に最新刊まで読んでしまったのですが、読み足りないの、結局猫猫の方も読んでやってます。かなりおすすめです！

